



2026年5月26日

各 位

会 社 名 株式会社環境フレンドリーホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭  
(コード：3777、東証グロース)  
問合せ先 経営企画室 室長 松澤 増満  
(TEL. 03-6261-0081)

### リパワリング事業に関する投融資検討に係る MOU 締結のお知らせ

当社の連結子会社である株式会社 EF インベストメント（以下、「EF インベストメント」という。）は、三井住友信託銀行株式会社（本社：東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号、取締役社長 米山 学朋、以下、「三井住友信託銀行」という。）ならびに株式会社レイズ（本社：東京都千代田区丸の内 2-2-1 岸本ビルディング 10 階、代表取締役 文 智勇、以下、「レイズ」という。）と、日本国内におけるレイズが出資する太陽光発電所のリパワリング及び当該リパワリングに係る投融資検討を三井住友信託銀行が行うことを目的とした覚書（以下、「本覚書」という。）を締結いたしました。

本覚書において、EF インベストメントは、レイズが出資する太陽光発電所からアセット・マネジメント業務を受託しており、設備の運用改善支援を目的に太陽光発電所のリパワリングを実施していく計画です。

また、当該リパワリング対象の太陽光発電所について、三井住友信託銀行が運営するファンドが追加出資及び出資持分の取得等の投資に係る優先審査権および優先交渉権を保有することとなります。

優先審査権および優先交渉権の保有期間は本覚書の締結日である本日から 6 ヶ月間であり、当事者間の合意により延長することができることとしております。

併せて、リパワリング対象の太陽光発電所に対するプロジェクトファイナンスの検討機会を三井住友信託銀行に提供いたします。

なお、本覚書は Phase 1 として上記の投融資に向けた検討の枠組みを定めるものであり、三井住友信託銀行が運営するファンドおよび三井住友信託銀行に対して、投融資の実行を義務付けるものではありません。

具体的な投資条件、金額、実行義務は、Phase 2 として別途締結される正式契約により確定されることとなります。

本件による 2026 年 12 月期の当社連結業績に与える影響は、現時点においては軽微であると判断しておりますが、今後、開示が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以 上